

白馬

SHIROUMA

市立大町山岳博物館特別展

菊池哲男 写真展

Tetsuo Kikuchi

■会期: 2006年4月15日(土)~5月28日(日)
(休館日4月17, 25日、5月8, 15, 22日)

■会場: 1階ホール・特別展示室

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■観覧料: 大人400円 高校生300円 小・中学生200円

※常設展と共通・30名様以上の団体は各50円引き

■主催: 市立大町山岳博物館

■協賛: (株)エンレイ、唐松岳頂上山荘、信濃毎日新聞社、冷池山荘、ニコンカメラ販売(株)、日本発色(株)、(株)白馬館、白馬観光開発(株)、富士フイルムイメージテック(株)、(株)フレームマン、ラフマミレー(株)、(株)ワコール(五十音順)

■後援: 朝日新聞松本支局、中日新聞社、読賣新聞松本支局、毎日新聞松本支局、産経新聞長野支局、大系タイムス(株)、民友信州、市民タイムス、FM長野SBC信越放送、NBS長野放送、(株)テレビ信州、長野朝日放送(株)、アルプスケーブルビジョン(株)、大町市有線放送電話農協、大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟、(財)白馬村振興公社、八方尾根観光協会、白馬五竜観光協会、碓氷高原観光協会、『山と溪谷』、『岳人』、『日本フォトコンテスト』、『旅写真』

『崇高なる白馬岳(1月)』



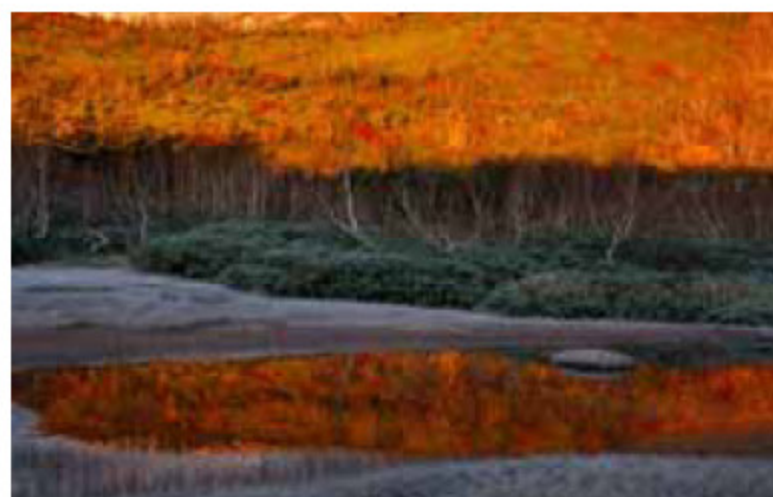
『雲表の白馬岳・杓子岳(8月)』ペンタックス67/フィルム作品

●市立大町山岳博物館展によせて

長野県の大町市や白馬村・小谷村は富山県側から見て立山連峰の後ろにあることから名づけられた後立山連峰の表玄関です。この連峰には白馬岳をはじめ、五竜岳や鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳そして戦国武将・佐々成政の針ノ木峠越えで有名な針ノ木岳など個性的な秀峰が続き、この大町山岳博物館前から全てを見渡すことができます。里から3000mの山々がこれほど近くに迫る山岳風景はまさに圧巻で、そんなすばらしい会場で私の作品展を開催できるというのは無類の喜びです。ぜひ1人でも多くの方にご来場いただき、私の作品を通して山岳という大自然と向き合い、その大切さを実感していただけたら幸いに存じます。(菊池哲男)



『月光浴の白馬村(2月)』ニコンD200/デジタル作品

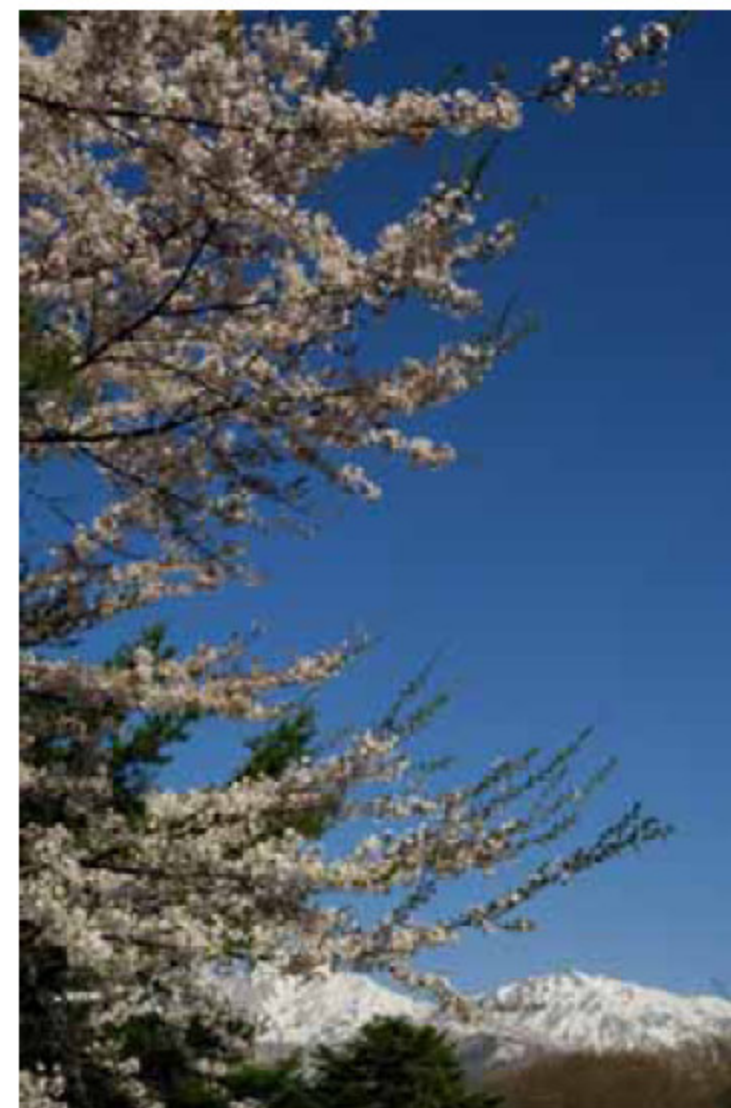


『樺池寸景(10月)』ニコンD2x/デジタル作品

菊池哲男写真展

『白馬(SHIROUMA)』の開催にあたって

山岳フォトグラファターの菊池哲男氏は北アルプスの白馬岳や五竜岳、鹿島槍ヶ岳そして針ノ木岳へと続く後立山連峰に魅せられ、15年以上も撮影を続けています。長期にわたって撮りためた作品で昨年、写真集『白馬』を出版されましたが、今回の作品展では写真集の中から1mを越す大パネルを多数展示するほか、新たな試みとして近年急速に普及しているデジタル一眼レフカメラによる最新の作品も複数、大パネルで展示を予定しています。ぜひ大迫力のオリジナルプリントで日本を代表する高き峰々が魅せる四季折々の美しさを堪能してください。(大町山岳博物館)



▲『残照の五竜岳(11月)』ニコンD2x/デジタル作品

◀『桜咲く白馬山麓(5月)』ニコンD2x/デジタル作品

菊池哲男 (きくち・てつお)

山岳フォトグラファター。好きな絵画の影響で14歳から独学で写真を始め、これまで山岳雑誌、カレンダー、ポスター等に多くの作品を発表。99年に初の写真集『美しき山麓』刊行。01年月刊誌『山と溪谷』の表紙を1年間担当する。04年よりニコン・フォトコンサルタントとして写真教室や撮影ツアーの講師など活動の幅を広げている。05年には写真集『白馬』(山と溪谷社)を上梓し、池袋サンシャインにて写真展を開催。3日間で3万人を動員した。
HP: <http://www.t-kikuchi.com/>



市立大町山岳博物館

■〒398-0002 長野県大町市大字大町8056-1
TEL: 0261-22-0211 FAX: 0261-21-2133
HP: <http://www.city.omachi.nagano.jp/sanpaku/>
■交通 ●公共機関 JR大糸線信濃大町駅からタクシーで5分 歩いて25分
●マイカー 長野自動車道豊科ICから40分(北アルプスパノラマロード経由 白馬方面へ28km)
※博物館前に無料駐車場あります。

